

2018年度学内版 GP 成果報告書

| | | |
|--|---|--|
| 取組名称 | インターンシップの事前・事後学習セミナーと評価ルーブリックの開発 | |
| 実施組織 (または対象のカリキュラム) | キャリア教育・サポートセンター | |
| ※連携する他学部・機関がある場合は記入 | グローバル教育推進センター | |
| 実施責任者(所属) | 勝亦 達夫 (キャリア教育・サポートセンター 助教) | |
| 取組の目標 | ① 通年不定期でインターンシップ・セミナーを開催 ② 取組達成の可視化: インターンシップ評価ルーブリックの開発 | |
| 1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする) | 1. 信州産学官連携インターンシップ(県内・海外)事業に関連し、インターンシップの事前・事後学習を各地キャンパスで全8回開催した。 2. 事前学習で、インターンシップに参加する上での手続きやマナーについて学ぶとともに、事前の課題設定の重要性を伝えた。 3. インターンシップ・ルーブリックを事前学習の段階からチェック表として活用し、事後もふりかえりの際に利用することで、自己評価を行った。 4. 学びの成果をレポートやeポートフォリオに入力し、発表で成果をまとめ伝えることで、学生は経験や体験を蓄積する機会となった。 5. インターンシップの受入先を、前後で回することで、学生の課題や要望、セミナーの改善点、企業のニーズや要望を把握することにつながった。 | |
| 2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述) | a.達成できた | (評価理由) 定期的なセミナーの開催によって、学生の意識付や課題設定、自分が不足している点について気づきを促すことができた。自己評価のため開発したルーブリックは、チェック項目の形式とし、手続きの進捗、確認事項を積みあげることによって得点となる仕組みを考案した。項目の得点割合を可視化することで、目標達成度を確認できるようになり、繰り返し利用できるものとした(別添資料参照)。 |
| | | (今後の展望) セミナーの内容について、学生のレベルや目的によって「物足りない」と感じる感想がみられた。ルーブリックをより発展させ、また企業側にも同様に評価してもらうことで、客観的な評価に繋げたい。さらに、レポートや学びを蓄積してアウトプットする方法を整備するとともに、学びを深め、振り返りをきちんとして発表したいと考える学生に向けたサポート体制や機会を、今後開発していきたい。 |



平成30年度学内版GP 報告書

インターンシップの事前・事後学習 セミナーと評価ルーブリックの開発



キャリア教育・サポートセンター 助教 勝亦達夫

○ インターンシップの課題

課題①

事前のオリエンテーションを実施したが、事務伝達が中心となり
目標設定や意識の準備が足りない。
一度に様々な情報が与えられてしまうために、研修する企業のことや現地での生活について**調べる時間が不足**している。

課題②

事前学習不足により**企業とのミスマッチ**が起き、学びたいこと、
知りたいことを修得できずに終わってしまう。

課題③

事後のふりかえりの時間を確保できていない。
学んだ記録を残せず、周囲にも伝えるという機会が持てないため、本人の中だけで完結してしまう。それでは、周囲のフィードバックが得られず、どう**学ぶことができたのか**が**確認できない**。

○ 現在の取り組み状況

事業期間：H27年度 - H31年度

地〔知〕の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

事業期間：H27年度 - H31年度

大学と地域の自治体や中小企業等が協働し、**地域の雇用創出**や**地域が求める人材を育成**し、学卒者・若年層の**地元定着率を向上**させる。

信州大学を主幹校に、長野大学・松本大学と協働

『地域ニーズで就業力と地域定着志向と成長力を高める**キャリア教育**』

長野県の若者（学生）の「地域流入」と「地域定着」の現状は、県外出身者の割合が半数で、それを超える割合が地域に定着している。
COC+大学の信州大学は他県の同規模大学と比較しても、**県外からの流入が多く、地域定着率が高い**。

県外出身者が、**県内企業や地域を知る機会がなく進路選択をしている状況を改善**し、更なる地域定着を促進するための地域活用型キャリア教育環境の整備を進めている。働くことやキャリアを考える「サービラーニング」と「**インターンシップの拡充**」を事業協働機関と連携して進めている。

○ 2018年度 通年不定期でインターンシップ・セミナーを開催

2. セミナーの実施内容・流れ

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------------|--------|---------------|-----------------|---------------|----|-------------------------|-------|-------|
| 事前授業 | | | | 実習 | | 事後学習 | | |
| 参加者募集・企業調査 | 企業手続訪問 | マナー講座 目標設定 | 事前評価 プログラム準備 | インターンシップの実施 | | 完了報告書の作成 手続き | 学びの記録 | 学びの発表 |
| eポートフォリオ | | | | | | 次の学びの明確化 | | |
| 自己分析、学ぶ目標を設定し記録 | | | | 日々の記録、フィードバック | | 学んだ事のまとめ、評価(自己・外部)を記録保存 | | |



□ 平成30年度インターンシップ・セミナーのスケジュール(事前)

| 回 | 日にち | 場所 | 内容 |
|---|----------------------|-------------------|--|
| 1 | 4月24日(火) 18:00~19:00 | 松本 | インターンシップセミナー・ガイダンス 信州産学官インターンシップの説明 |
| | 4月26日(木) 18:00~19:00 | 長野 | |
| | 5月1日(火) 12:00~13:00 | 上田 | |
| | 5月7日(月) 18:00~19:00 | 伊那 | |
| 2 | 5月1日(火) 18:00~19:30 | 松本キャンパス (図書館) | しごと一く(県内企業) 告知タイムで信州産学官インターンシップを説明 |
| | 5月10日(木) 18:00~19:30 | 長野キャンパス | |
| 3 | 5月24日(木) 16:30~18:00 | 松本キャンパス | 信州産学官インターンシップの説明 応募案内 |
| 4 | 6月19日(火) 12:00~13:00 | 長野 | 準備講座: インターンシップに参加するにあたって マナー・手続き(アポイント、企業調査、目標設定) |
| | 6月20日(水) 12:00~13:00 | 上田 | |
| | 6月22日(金) 12:00~13:00 | 松本 | |
| 5 | 7月10日(火) 12:00~13:00 | 長野 | ポートフォリオの使い方 アポイント確認・申請フォロー |
| | 7月11日(水) 12:00~13:00 | 上田 | |
| | 7月12日(木) 12:00~13:00 | 松本 | |
| 6 | 7月17日(火) 18:00~19:00 | 松本・長野・上田 キャンパス | 海外渡航あたっての諸注意(グローバル教育推進センター) 個別相談: 企業との相談状況、書類の確認 |

5

□ 平成30年度インターンシップ・セミナーのスケジュール(事後)

| 回 | 日にち | 内容 | 場所・備考 |
|----|--------------------------|--|------------|
| 7 | 9月28日(金) 18:00~19:00 | インターンシップセミナー事後学習 書類の整理、報告書の確認 | 長野・松本 |
| | 10月2日(火) 18:00~19:00 | | 上田・松本 |
| 8 | 10月16日(火) 17:00~19:00 | インターンシップセミナー事後学習(確認日) | 松本キャンパス |
| 9 | 10月31日(水) | まとめ: 学びの記録をポートフォリオに保存 | 締切日 |
| 10 | 12月8日(土) | 大しごと一く(松本) | 松本キャンパス |
| | 11月11日(月) 15:00~16:00 | 発表: 海外インターンシップ 副知事訪問: 4名参加 | 長野市・県庁 |
| | 12月11日(火) 16:00~18:00 | 発表: コンソーシアム信州 インターンシップ報告会 2名参加 理学部・繊維学部 | SUNS |
| | 2月17日(日) 13:00~18:00 | 発表: ローカルイノベーター・フォーラム2019 2名参加 | 信毎メディアガーデン |

6

□ 実施内容

① 通年不定期でインターンシップ・セミナーを開催

② 取組達成の可視化: 指標の開発



7

□ 通年不定期でインターンシップ・セミナーを開催

① 事前学習(前期に4回実施 4~7月)

- ・自己分析を行い、**自分の強み弱み、適正を知る**(学生相談センターと協力)。
- ・インターンシップへ**参加する目的を明確にする**。
- ・行く企業を選択する際に、**下調べ**をする。
- ・教員とのメールのやり取り、電話のかけ方など**コミュニケーションマナーの実践**。
- ・**事務手続き**を確実に実行し実際にやってみる(業務の効率化)。
- ・前期中に受入企業が決まるため、アポイントメント取り・訪問日程の確認・プログラムの打ち合わせ、報告作業の**一連の流れについてセミナーの時間内で確認**する。

8

○ 通年不定期でインターンシップ・セミナーを開催

②実習期間(主に夏季休暇期間中 8~9月)
「eポートフォリオシステム」による日々の活動を記録し、教員とコミュニケーションをとり、フィードバックを得る。

※平成30年度より『目標設定』とその取り組み成果の機能を追加した。



○ 取組達成の可視化:指標の開発

キャリア教育・サポートセンターとグローバル教育推進センターで連携をして、「**インターンシップの自己評価のためのルーブリック**」を作成し、受講生が達成感(自己効力感)を確認する**指標を開発**する。

参考 大学生基礎カゼミ ルーブリック

| | 優 | 良 | 可 | 不可 |
|------------|---|--|---|---|
| 内容 | 本質的な違いが、自分の言葉で抽象的にかつ正確に表現されている。理由の説明も、文献の情報を十分に使って説得力をもってなされている。適切な自分の経験が使われており、高校と大学の違いを具体レベルで表現している。論旨が終始一貫し、読者に感銘を与える。 | 違いが抽象的にかつ正確な表現で書かれており、理由の説明が、文献の情報を使っているが、文献の情報が自分の経験も、この文脈に適切なものが使われており、高校と大学の違いを最低限説明するものになっている。 | 高校と大学の違いが一応書かれているが本質的なものではない。また、理由の説明もなされているが、文献の情報が十分に使われていない、あるいは、自分の経験が、説明のために適切なものではない。 | 高校と大学の違いが不適切であるか、理由がそれを説明するものになっていない、他の人の経験や具体例を使ったり、一般的なものを使ったりしている。あるいは、文献の内容が体験のいずれかがレポートに書かれていない。 |
| 段落と文章の構成 | トピックセンテンスが課題に直接こたえるものになっており、かつ、そのトピックセンテンスを説明するサブ・センテンスが適切に配置されて、2段落で書かれている。 | トピックセンテンスは課題に直接こたえているものの、正確でないか複雑で意味が十分に伝わらない。トピックセンテンスを説明するサブ・センテンスは一応配置されている。 | トピックセンテンスが課題に一応こたえているものの、正確でないか複雑で意味が十分に伝わらない。トピックセンテンスを説明するサブ・センテンスは一応配置されている。 | トピックセンテンスが課題にこたえていないか、そのトピックセンテンスと段落の内容が対応していない。1段落に2つ以上の主張や内容が入っているか、1段落が3段落以上で書かれている。 |
| フォーマットとルール | 文章作成上の一般的なルールがすべて守られ、上のフォーマットに従っている。誤字脱字・口語や省略・文法上の間違いがない。 | 文章作成上の一般的なルールや上のフォーマットのうち、3つ以下の違反がある。日本語の間違いが3つまである。 | 文章作成上の一般的なルールや上のフォーマットのうち、4つ以上の違反がある。日本語の間違いが4つ以上ある。 | |
| 引用 | 文中引用・文献リスト共に、指定に従っており、適切である。 | 文中引用も文献リストも書かれており、一方のみが適切である。 | 文中引用・文献リストのどちらかが書かれており、かつそれが適切である。 | 文中引用・文献リストのどちらとも書かれていない。 |
| | 3点 | 2点 | 1点 | 0点 |

○ 通年不定期でインターンシップ・セミナーを開催

③事後学習(後期 10~11月)

継続報告書の作成(学びのふりかえり) 教員が評価、フィードバックを行う。
インターンシップ参加後の手続き(書類整理)
企業への報告、御礼などのマナーの確認
体験の発表(様々な機会での発表)、周囲への学びの発信
成果(報告書、企業の評価)をeポートフォリオシステムに記録保存。



○ 取組達成の可視化:指標の開発

キャリア教育・サポートセンターとグローバル教育推進センターで連携をして、「**インターンシップの自己評価のためのルーブリック**」を作成し、受講生が達成感(自己効力感)を確認する**指標を開発**する。

参考 大学生基礎カゼミ ルーブリック

| | 優 | 良 | 可 | 不可 |
|------------|---|--|---|---|
| 内容 | 本質的な違いが、自分の言葉で抽象的にかつ正確に表現されている。理由の説明も、文献の情報を十分に使って説得力をもってなされている。適切な自分の経験が使われており、高校と大学の違いを具体レベルで表現している。論旨が終始一貫し、読者に感銘を与える。 | 違いが抽象的にかつ正確な表現で書かれており、理由の説明が、文献の情報を使っているが、文献の情報が自分の経験も、この文脈に適切なものが使われており、高校と大学の違いを最低限説明するものになっている。 | 高校と大学の違いが一応書かれているが本質的なものではない。また、理由の説明もなされているが、文献の情報が十分に使われていない、あるいは、自分の経験が、説明のために適切なものではない。 | 高校と大学の違いが不適切であるか、理由がそれを説明するものになっていない、他の人の経験や具体例を使ったり、一般的なものを使ったりしている。あるいは、文献の内容が体験のいずれかがレポートに書かれていない。 |
| 段落と文章の構成 | トピックセンテンスが課題に直接こたえるものになっており、かつ、そのトピックセンテンスを説明するサブ・センテンスが適切に配置されて、2段落で書かれている。 | トピックセンテンスは課題に直接こたえているものの、正確でないか複雑で意味が十分に伝わらない。トピックセンテンスを説明するサブ・センテンスは一応配置されている。 | トピックセンテンスが課題に一応こたえているものの、正確でないか複雑で意味が十分に伝わらない。トピックセンテンスを説明するサブ・センテンスは一応配置されている。 | トピックセンテンスが課題にこたえていないか、そのトピックセンテンスと段落の内容が対応していない。1段落に2つ以上の主張や内容が入っているか、1段落が3段落以上で書かれている。 |
| フォーマットとルール | 文章作成上の一般的なルールがすべて守られ、上のフォーマットに従っている。誤字脱字・口語や省略・文法上の間違いがない。 | 文章作成上の一般的なルールや上のフォーマットのうち、3つ以下の違反がある。日本語の間違いが3つまである。 | 文章作成上の一般的なルールや上のフォーマットのうち、4つ以上の違反がある。日本語の間違いが4つ以上ある。 | |
| 引用 | 文中引用・文献リスト共に、指定に従っており、適切である。 | 文中引用も文献リストも書かれており、一方のみが適切である。 | 文中引用・文献リストのどちらかが書かれており、かつそれが適切である。 | 文中引用・文献リストのどちらとも書かれていない。 |
| | 3点 | 2点 | 1点 | 0点 |

しっかり確認すれば、点数は低い**が確実に得点できる**よう設計されている。

○ 各学部のキャリア関連授業、インターンシップの実施状況 (平成28年度のヒアリング、シラバスから作成)

各学部授業とも調整しながら実施(学生へ周知)

| 学部 | キャリア形成授業・事前授業 | 正課インターンシップ |
|------|--------------------------|--|
| 人文学部 | 現代職業論Ⅱ(インターン前必須) | インターンシップ企業等体験実習 |
| 教育学部 | キャリア教育特講 | 生涯スポーツ臨地演習 |
| 経法学部 | 経営者と企業 産業論特論 現代職業論 | インターンシップA, B ボランティア |
| 理学部 | キャリアデザイン概論 | 数理実務体験実習 化学実務体験 地質実務体験実習 |
| 医学部 | 時間外でマナー講習 | 実習が多数 |
| 工学部 | | 学外特別実習Ⅰ(環境) 学外特別実習Ⅰ(建築) 学外特別実習Ⅰ(土木) 学外特別実習Ⅰ(電気) 学外特別実習Ⅰ(物質) 学外特別実習Ⅰ(機械) 学外特別実習Ⅱ 学外研修プロジェクトⅠ~Ⅳ ボランティア特別実習Ⅰ・Ⅱ 学外特別講義Ⅰ・Ⅱ |
| 農学部 | キャリアデザイン(インターン前必須) | インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ |
| 繊維学部 | ひと・ものづくりプロジェクト | |
| | ビジネスアドミニストレーション | インターンシップ |

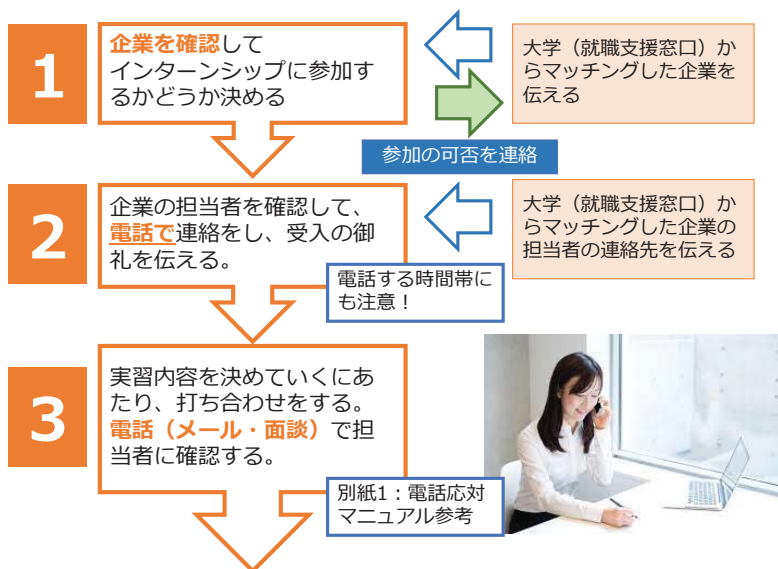
○ 成果と効果

3. 教育効果・成果

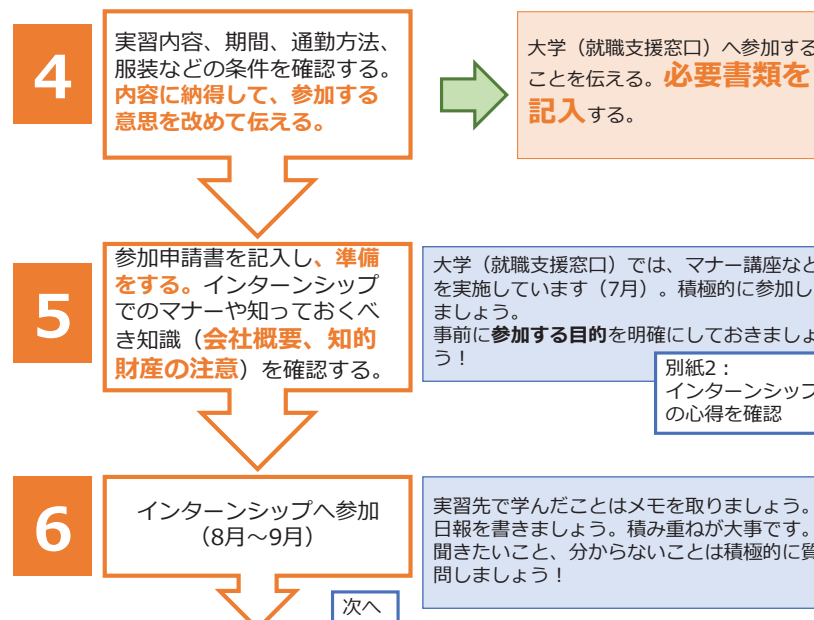
- 完成した報告書やポートフォリオシステムの事例を学内で共有できる。また学生は**自己のプレゼンテーションにも活用**できる。
- 記録されたものは**高年次へも引き継げる**。どんなことを体験してきた学生であるかを、**高年次の担当教員が確認**できる。



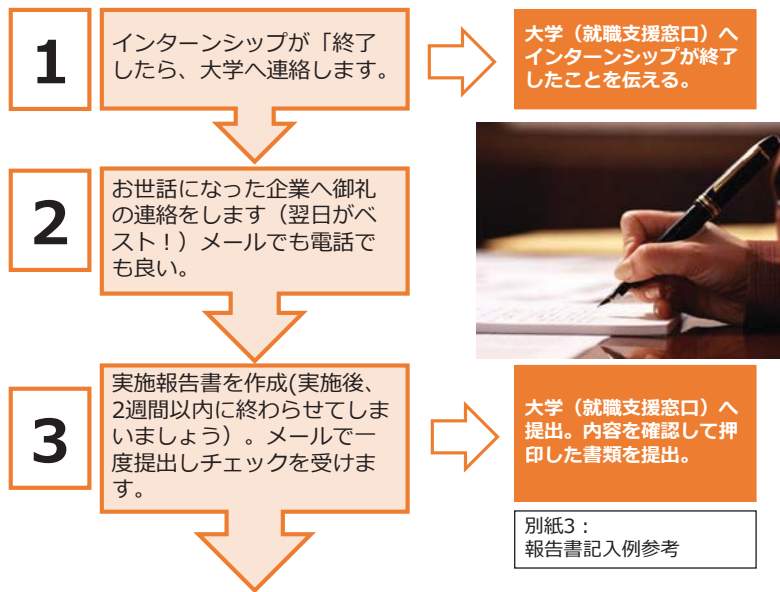
■ インターンシップ参加フロー (事前準備)



■ インターンシップ参加フロー (事前準備)

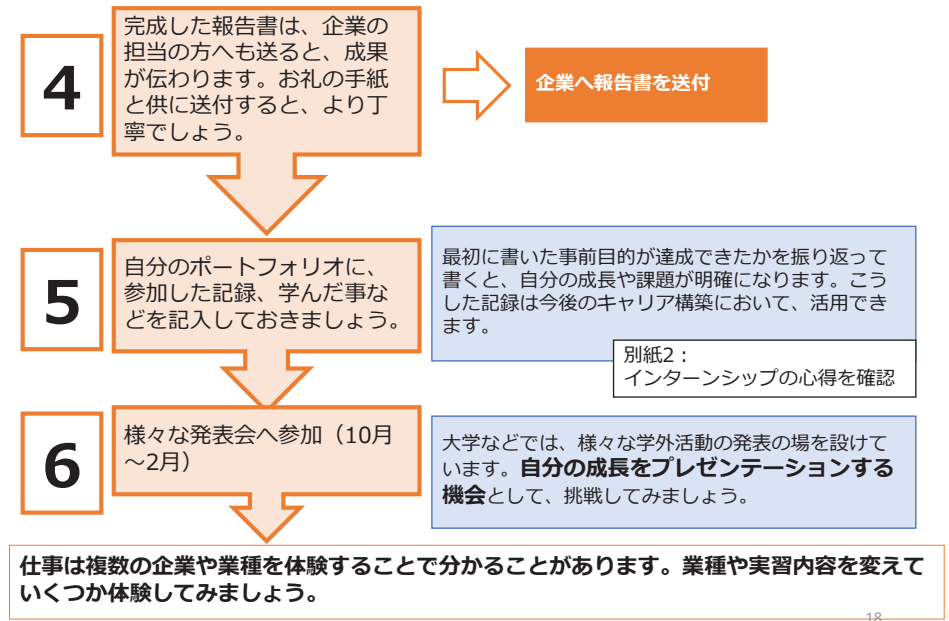


■ インターンシップ参加フロー（参加後）



17

■ インターンシップ参加フロー（参加後）



18

■ 進捗状況の確認

下記にアクセスし、進捗状況を知らせてください。
疑問点を記入する項目もあります(自由記述)。

Google フォーム



県内インターンシップ



海外インターンシップ

19

■ インターンシップ参加フロー（事前準備）

確認

- ① インターンシップ受入希望調査票（県内）、インターンシップ受入事業所確認票（海外）を確認し、受入企業の概要（受入希望期間、日程、作業内容、通勤方法）を確認する。
- ② 企業へ電話をかけ、担当者を確認する。
詳細の打ち合わせをする日程（面談日）について確認する。
- ③ 「自己紹介書」を作成する。
データで作成しておき、清書したものを準備する。企業によっては別に指定する場合があるので確認をする。
- ④ 「提出書類」を確認し、必要なものを揃える（協定書、誓約書）。
企業によっては別に指定する場合があるので確認をする。
- ⑤ 参加にあたって、自身が入っている保険を確認する。
学研災、学研賠などの加入の有無、海外は加入必須（学部窓口で確認）。

20

■ 2018年度 インターンシップ・ルーブリック (チェック表付き)

海外インターンシップVer.

| 事前準備 | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 学 習 | <input type="checkbox"/> インターンシップセミナー、マナー講習に参加した | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> パスポートの準備し、期限を確認した | <input type="checkbox"/> 担当者への連絡した(月 日) |
| | <input type="checkbox"/> パソコンの基本的な操作方法を修得した | | <input type="checkbox"/> パスポートの写しを大学へ提出した | <input type="checkbox"/> 担当者との面談した(月 日) |
| | <input type="checkbox"/> 自己紹介書を作成した。 | | <input type="checkbox"/> 学研債、学研債への加入を確認した(必須) | <input type="checkbox"/> 担当者との面談した(月 日) |
| | <input type="checkbox"/> 現地の言葉での簡単な挨拶を覚えた | | <input type="checkbox"/> 交付申請書を提出した | <input type="checkbox"/> 自己紹介・履歴書を送付した(月 日) |
| | <input type="checkbox"/> 会社や業界について詳しく調べた | | <input type="checkbox"/> 学研債、学研債の証書を提出した | <input type="checkbox"/> 体験してみたいことを伝えた |
| | <input type="checkbox"/> 自己目標を記録し企業へ伝えた | | <input type="checkbox"/> 渡航査証 (ビザ) の要否を確認した | <input type="checkbox"/> インターンシップ日程の確認をした |
| | <input type="checkbox"/> 出発までのスケジュールを作った | | <input type="checkbox"/> 受入企業を確認し、参加の意思を大学に伝えた | <input type="checkbox"/> 担当者とのプログラム内容の確認 |
| | <input type="checkbox"/> 企業の知的財産について学んだ | | <input type="checkbox"/> 緊急連絡先を大学に伝えた | <input type="checkbox"/> 作業内容を確認し、従事することに同意した |
| | <input type="checkbox"/> 現地・地域のことを調べた | 手 続 き (大 学) | <input type="checkbox"/> 研究室、担当の先生等に参加する旨を伝えた | <input type="checkbox"/> 勤務体制の確認(時間、服装) |
| | <input type="checkbox"/> 緊急連絡先を伝えた(学部、キャリアセンター、親) | | <input type="checkbox"/> 渡航費の概算を企業と確認し、大学へ提出した。 | <input type="checkbox"/> 現地事業所への通勤の確認した(手段や時間) |
| <input type="checkbox"/> 万が一の備えを確認した。 (所持品が足りない場合どうするか、電量や動かない時どうするか等) | | <input type="checkbox"/> 渡航査証 (ビザ) の要否を確認した | <input type="checkbox"/> 国内移動手段を手配し、時間や方法を企業へ伝えた | |
| <input type="checkbox"/> 基本的な敬語を修得した | | <input type="checkbox"/> 渡航費の算出根拠となる書類を揃えた | <input type="checkbox"/> 渡航経路、時間などを企業担当者へ伝えた | |
| <input type="checkbox"/> ワイシャツ、作業着等の服装を確認 (ワイシャツやズボンなどはマナーとして忘れなくとも準備する) | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 海外渡航手段の手配をした(行き)。 | |
| <input type="checkbox"/> 持ち物で、特に必要なものを企業へ確認した | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 現地での滞在方法(宿泊場所)を確認した | |
| <input type="checkbox"/> 常備薬・必要な薬を用意した | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 滞在においての注意点を確認した | |
| <input type="checkbox"/> 通信環境 (wi-fi) や電話など使用環境を確認した | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 海外渡航手段の手配をした(帰り)。 | |
| <input type="checkbox"/> 必要な衣服の確認、靴 | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 到着時の連絡手段を確認した。 | |
| <input type="checkbox"/> 現地の気候を確認、必要な対策 | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 到着時の段取りを確認した。 | |
| <input type="checkbox"/> オフ(通勤、退社時)の際の服装を確認した | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 就業以外の要望を確認した | |
| <input type="checkbox"/> 生活習慣上、信仰上注意すべきことを確認した | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 緊急時、病気になった際の確認をした | |

■ 2018年度 インターンシップ・ルーブリック (チェック表付き)

| 実施中 | | | | | |
|-------------|--|--------|--|--|--|
| マ ナ ー | <input type="checkbox"/> 時間管理ができた(早寝早起きの習慣・約束の時間10分前の行動) | | <input type="checkbox"/> 地域のことを知るため、空き時間以外に出かけた | <input type="checkbox"/> 作業風景を写真に収めた。 | |
| | <input type="checkbox"/> メールや電話などで、できるだけ早くの応対・対応ができた。 | | <input type="checkbox"/> 現地や会社のイベントに参加した | <input type="checkbox"/> 滞在の様子を写真に収めた。 | |
| | <input type="checkbox"/> 清潔感のある服装で臨めた | | <input type="checkbox"/> 常に質問を用意しておく意識を持てた。 | | |
| | <input type="checkbox"/> 挨拶を常に意識できた。 | | <input type="checkbox"/> 物品の紛失、損壊した際の対応を確認した | | |
| | <input type="checkbox"/> 朝きちんと集合時間に間に合った | 学 習 | <input type="checkbox"/> 企業にとっての知的財産を確認し、写真を揃って良い所、時間を確認した。 | <input type="checkbox"/> 企業にとっての知的財産を確認し、写真を揃って良い所、時間を確認した。 | |
| | <input type="checkbox"/> 目標を事前に書いておいた。 | | <input type="checkbox"/> 日報を書いた。気づいたこと、記憶に残る言葉、動き、言われてうれしかったことを記録した。 | <input type="checkbox"/> 日報を書いた。気づいたこと、記憶に残る言葉、動き、言われてうれしかったことを記録した。 | |
| | <input type="checkbox"/> 【緊急時のみ】具合が悪くなった際担当者へ相談、落ち着いてから家族・大学へ連絡できた | | <input type="checkbox"/> 到着報告を大学・親にした。 | <input type="checkbox"/> 従業員の方とのコミュニケーション 喜ばれも積極的に話があった。 | |
| | <input type="checkbox"/> 体調を崩すことなく過ごすことができた | | <input type="checkbox"/> 社員の方と会話をして情報を集めた | <input type="checkbox"/> 社員の方と会話をして情報を集めた | |
| | | | <input type="checkbox"/> 社員の方以外と会話をして情報を集めた | | |
| | | | | | |

■ 2018年度 インターンシップ・ルーブリック (チェック表付き)

| 実施後 | | | | |
|-------------|---|--|---|--|
| マ ナ ー | 大学へ到着報告(学部、キャリアセンター) | | <input type="checkbox"/> 領収書の確認をした。クレジットで支払った場合は、その支払い記録が必要となる | <input type="checkbox"/> 帰国時、到着の連絡を現地法人、国内本社へ行った |
| | 就業時、積極的に掃除、整理整頓ができた | | <input type="checkbox"/> 海外への渡航費用がわかる書類を大学へ提出した | <input type="checkbox"/> 帰宅後、改めて御礼を現地法人、国内本社へ送った |
| | 訪問した方、出会った方々の名前と肩書を整理した | | <input type="checkbox"/> 海外での移動費用がわかる書類を大学へ提出した | <input type="checkbox"/> 報告書を作成し、企業へもお送りした |
| | | | <input type="checkbox"/> 海外での滞在費(食費を除いて請求、わかるようにしておく)がわかる書類を大学へ提出した | <input type="checkbox"/> 企業に立替えてもらった費用を支払いた |
| | | | <input type="checkbox"/> 保険費用がわかる書類を大学へ提出した | |
| | | | <input type="checkbox"/> 完了報告書を大学へ提出した(押印) | |
| | | | <input type="checkbox"/> 請求書を大学へ提出した(押印) | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |
| | | | <input type="checkbox"/> | |
| 学 習 | 報告書を作成した(事前の目標、学んだ事、今後の抱負、御礼を忘れずに記入できた) | | | |
| | 「eポートフォリオ」を利用してみた | | | |
| | インターンシップに参加し学んだ成果を発表した | | | |
| | 企業や大学からのメールに迅速に返信できた | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

□ 事後学習

□ 企業や大学からのメールに**迅速に返信**できた

□ 大学へ**報告**(学部、キャリアセンター等)

□ 就業時、積極的に**掃除、整理整頓**ができた

□ 訪問した方、出会った方々の名前と肩書を**整理**した

□ **報告書を作成**した(事前の目標、学んだ事、今後の抱負、御礼を忘れずに記入できた)

□ インターンシップに参加し学んだ**成果を発表**した

□ ルーブリックの開発

2018年度 インターンシップ・ルーブリック (採点表)

| 評価項目 | 手続 | 基礎力の習得 | 行動の対価 | 自己実現の達成 | 採点 |
|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----|
| 対自己基礎力 感情制御力、自信創出力、モチベーション維持力、行動持続力 | 1. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 2. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 3. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 4. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 500 |
| | 2. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 3. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 4. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 5. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 3. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 4. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 5. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 6. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 4. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 5. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 6. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 7. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 5. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 6. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 7. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 8. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 6. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 7. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 8. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 9. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 7. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 8. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 9. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 10. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 8. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 9. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 10. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 11. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 9. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 10. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 11. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 12. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 10. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 11. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 12. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 13. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 11. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 12. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 13. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 14. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |
| | 12. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 13. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 14. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | 15. インターンシップの目的、目的意識を明確にする。 | |

- □ ルーブリックを記入し、✓をしてみてください。できたこと、できなかったことを評価してみてください(オレンジ:1点、青:2点、緑:3点)。
- □ 未だのところは未記入で結構です。
- □ 点数を計算してみましょう。自己評価で点数を出してみましょう。
- インターンシップは100点、海外インターンシップは140点

□ ルーブリックの開発

繰り返し使えて、達成感が感じられる評価ルーブリックを目指す

県内インターンシップに参加した繊維学部の学生の結果

行動(アクション)における段階的評価 →

| 県内 | 絶対やるべきこと(手続き) | | 意識して取り組むことができた | | 自発的に取り組めたこと | | 自己実現・目標達成自己設定 | | 得点 | 割合 | 得点 | % | | |
|---------|---------------|------|----------------|---|-------------|------|---------------|------|------|-------|-------|------|----|--|
| | 1点 | 5 | 1点 | 3 | 1点 | | 3点 | 3 | | | | | | |
| 対自己基礎力 | 1点 | 5 | 1点 | 3 | 1点 | | 3点 | 3 | 17 | 53.1% | 32 | 32 | | |
| | 2点 | | 2点 | 4 | 2点 | 2 | 3点 | | | | | | | |
| | 3点 | | 3点 | | 3点 | | | | | | | | | |
| 対人基礎力 | 1点 | 3 | 1点 | 1 | 1点 | | 2点 | 2 | 14 | 17 | 53.1% | 41 | 41 | |
| | 2点 | 2 | 2点 | 4 | 2点 | 2 | 3点 | | | | | | | |
| | 3点 | | 3点 | | 3点 | | 3点 | 3 | | | | | | |
| 対課題基礎力 | 1点 | 2 | 1点 | 4 | 1点 | | 3点 | 3 | 6 | 11 | 34.4% | 27 | 27 | |
| | 2点 | 2 | 2点 | | 2点 | 5 | 3点 | | | | | | | |
| | 3点 | | 3点 | | 3点 | | | | | | | | | |
| 得点(点) | | 14 | 19 | | 16 | 27 | | 4 | 28 | | 11 | 26 | | |
| 達成割合(%) | | 73.7 | 15.8 | | 59.3 | 22.5 | | 14.3 | 23.3 | | 42.3 | 21.7 | | |

基礎力における評価 ↓

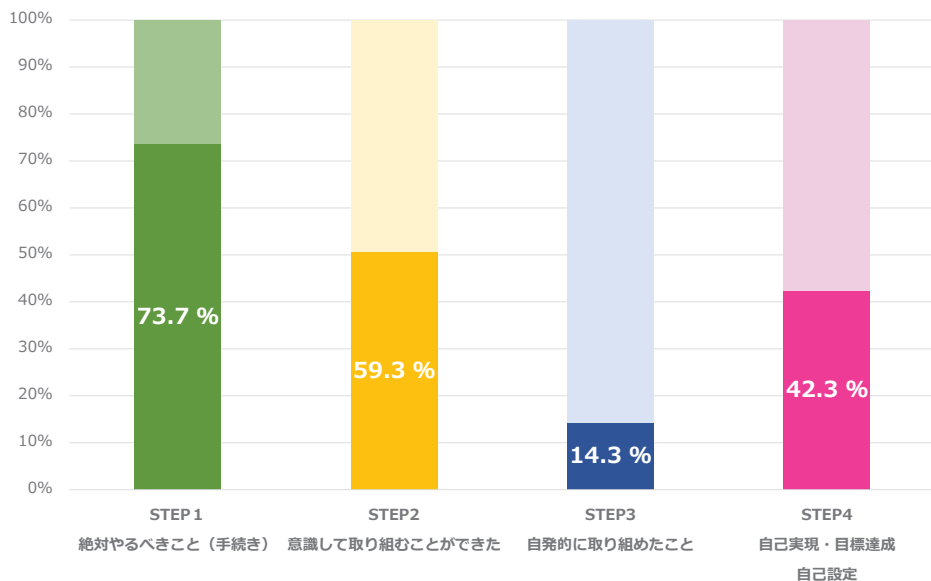
基礎的なことを押さえるほど高得点にもなる

事前の目標設定がしっかりできていれば、得点につながる

得点の高低に依らない評価

□ ルーブリックの開発

行動(アクション)における評価:達成度

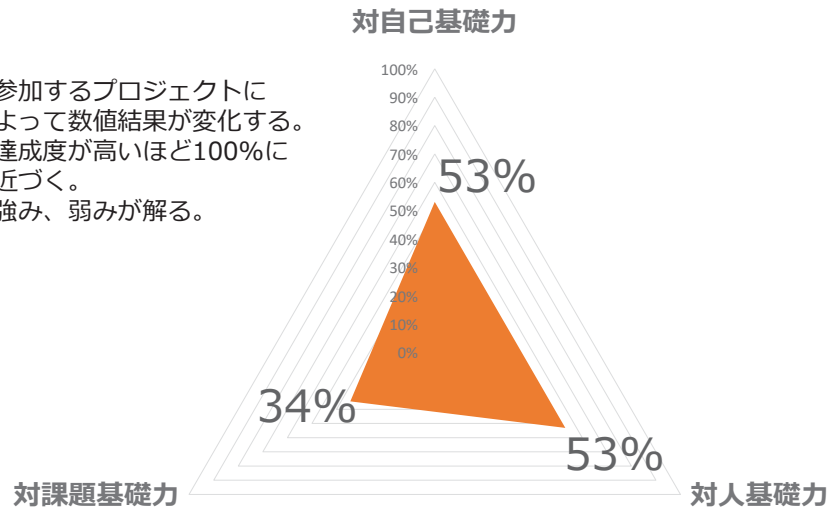


□ ルーブリックの開発

| やるべきこと(手続き) | 意識して取り組むことができた | 自発的に取り組めたこと | 自己実現・目標達成自己設定 |
|--|----------------|-------------|---------------|
| <p>対自己基礎力 → 自己認識 感情制御力:感情に流されない。 自信創出力:ポジティブシンキング。 モチベーションを持続させる。 行動持続力:率先して行動し、それを習慣付ける。</p> | | | |
| <p>対人基礎力 → コミュニケーション 親和力:一緒に働く仲間と信頼関係を築く。 協働力:目標に向けてチームワークを発揮し仕事を進める。 統率力:リーダーシップ。組織全体を把握する。</p> | | | |
| <p>対課題基礎力 → 課題設定力 課題発見力:課題に気づき、整理する。 計画立案力:課題を解決するための計画を立案する。 実践力:立案した計画を実行する。</p> | | | |

基礎力評価

- 参加するプロジェクトによって数値結果が変化する。
- 達成度が高いほど100%に近づく。
- 強み、弱みが解る。



29

平成31年度～レベルや目的に合わせたインターンシップ

| | | | |
|---|---|--|--|
| <p>職務実践 (ツヨク形成) 型</p> <p>仕事から地域を創造する主体へ</p> <p>地方のワークライフバランス、環境や資源をフル活用した独自の創造</p> | <p>STEP 4</p> <p>個人の能力、強み・動機を明確化し、キャリア選択を目標のひとつとして実施。主体的な活動を通して、キャリア形成につなげる。</p> | <p>大学院生向け</p> <p>共同研究への参加</p> | <p>●高専人材育成インターンシップ (大学入付育成センター)</p> <p>●キャリアバリエーションインターンシップ (組織学部)</p> |
| <p>課題解決型</p> <p>仕事を通じて学問と社会を繋ぐ</p> <p>大学生活で学んできたことを仕事の場で活かす視点・方法を習得する</p> | <p>STEP 3</p> <p>企業や自治体の課題を扱い、提案をしながら実務的な体験を通して学生の行動力を高める。コミュニケーションや表現力、チーム力などを養うため、中長期間活動。</p> | <p>PBL型</p> <p>企業や自治体の実際の課題を扱い設定をして、一定期間解決に取り組み、終了後成果を発表する。</p> | <p>●伊那食品工業での製品開発</p> <p>●夏のインターンシップ(信州)：信州フューチャーセンターが実施する地域企業とマッチングし、提案し実施を行う。</p> <p>●塩尻市役所インターンシップ</p> <p>●リクルートHDインターンシップ</p> |
| <p>就業体験型</p> <p>地域課題や仕事を体験する</p> <p>生活や仕事の現場に入り、リアルな地域の課題を体験し、自己課題とする</p> | <p>STEP 2</p> <p>実務的な体験を通して、会社や学生の資質を確認する。職業の具体的なイメージ形成を目的として1～2週間の就業体験をする。</p> | <p>単位認定</p> <p>各学部の規定による就業体験</p> <p>企業協働型</p> <p>企業等に受け入れてもらい、一定期間就業体験を行う。</p> <p>地域インターンシップ</p> <p>自治体に受け入れてもらい、一定期間就業体験を行う。</p> | <p>●各学部のインターンシップ</p> <p>●県内企業へのインターンシップ</p> <p>●長野県インターンシップ (信州大学と連携)</p> <p>●北信濃インターンシップ (長野県と連携)</p> <p>●戸田製作所インターンシップ (戸田製作所)</p> <p>●信州大学インターンシップ (白馬村、Yahoo!)</p> <p>●信州大学インターンシップ (信州大学)</p> <p>●信州大学インターンシップ (信州大学)</p> <p>●信州大学インターンシップ (信州大学)</p> <p>●信州大学インターンシップ (信州大学)</p> |
| <p>セミナー・見学型</p> <p>信州の特徴・課題を知る</p> <p>キャリア (将来・仕事) を考える</p> | <p>STEP 1</p> <p>インターンシップに行くことへの意識を高めることや基礎的なマナーの習得、企業を知ることを目的とする。導入として、授業とリンクする低年次向プレ・インターンシップ。</p> | <p>オープンファクトリー</p> <p>工場見学、会社見学をして現場理解を深める。</p> <p>エリアインターンシップ</p> <p>一度に複数の企業を訪問し、比較しながら会社の特徴や雰囲気、違い、業界や地域での関連性を知る。</p> <p>インタビュー型</p> <p>コミュニケーション力、質問力を高めるため、自分で質問することで、会社理解を深める。</p> | <p>●上田ロリアンインターンシップ (信州大学)</p> <p>●長野市フィールドワーク</p> <p>●しごと一く</p> <p>●大しごと一く</p> <p>●信州インターンシップ</p> |

2-1. COC+協議会の取り組み 新しいインターンシップの仕組み



開催概要
 県内大学生の低年次における長野県内企業の認知度が低い。規模や知名度だけで大企業を選んでも、優良な県内企業を知らずに進路選択している状況を改善したい。様々な活動やキャリアを見て、自身の将来を具体化してほしい。こうした課題を解決するためには、長野県に住みたい、働きたいという魅力を感じるために、早い段階での知る機会が必要だと考えました。その機会として、学生と県内企業の大交流会「大しごと一く」を、学生の実行委員を中心に計画・実施しました。

開催日：2018年12月8日(土)
 13:00~17:00

場所：松本キャンパス 第1体育館

企業・自治体79団体、学生16団体による仕事の面白さや活動を伝えるブースを設置。



背景：社会人と学生のトーク企画「しごと一く」を毎月開催

働くことを考えるトーク企画

仕事についてのトークで、将来のこと、ちよっと聞いてみよう。この先インターンシップを求めている人、これから就職活動を始める人におススメ!

いろいろな社会人の先輩に、普段思っていることやこれから挑戦したいことを話してみよう。対話を通じて「働き方」のイメージを具体化します。普段なかなか聞くことができない仕事や働くことについて考えます。

長野・松本・上田・伊那で開催

目的：
 「しごと一く」は、会社説明会や面接の場では聞けないような「働くこと」「仕事」について、学生と社会人が対話するトーク企画です。2018年度、キャリア教育の一環として当センターで毎月開催してきました。キャリアを考える前の段階で、自分の関心や課題(自分の強み、弱み)を認識し、やりたい事とキャリアを一致させていくことを目指しています。

31

2-1. COC+協議会の取り組み 新しいインターンシップの仕組み



本イベントの特徴

全学年の学生が対象。

企業名ではなく、**企業の強みやキャッチコピーを提示**して話をすることを目的とします。ブースと情報交換イベントスペースを隣接して用意し、様々な交流の機会を生み出します（「話す」仕掛けを用意）。

多様な活動をする学生の**展示**を見たり、学生は自身の活動を伝えるブースを出展。

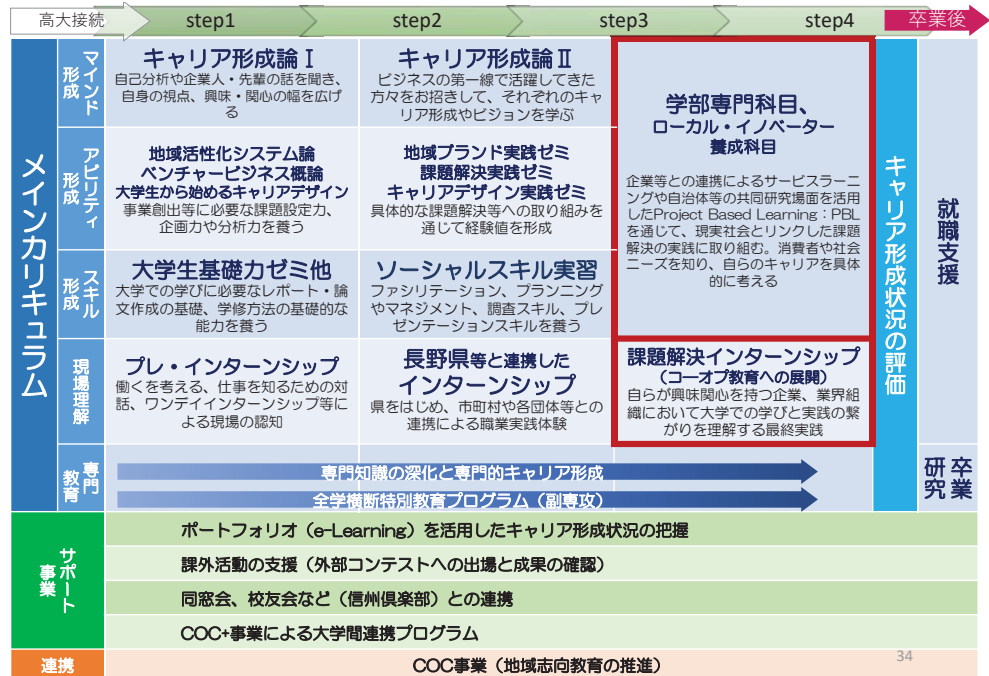
就職活動ではないため「スーツ着用はなし」。会社を選ぶのではなく、人に会う場



| 来場者数 | 学生 | 一般 |
|------|------|------|
| 506名 | 277名 | 229名 |

キャリア教育カリキュラムマップ

信州大学キャリア教育・サポートセンター



○ 平成31年度の計画

現在進行中の全学横断特別教育プログラム中の、正課授業「課題解決インターンシップ」と「グローバル実践」のプレ・セミナーとして実施する。

評価ルーブリックをプログラム内で活用。



Eポートフォリオの構成と他コンテンツ（サイト、ICTなど）の活用

↓ 自己認識（授業・事前セミナー）

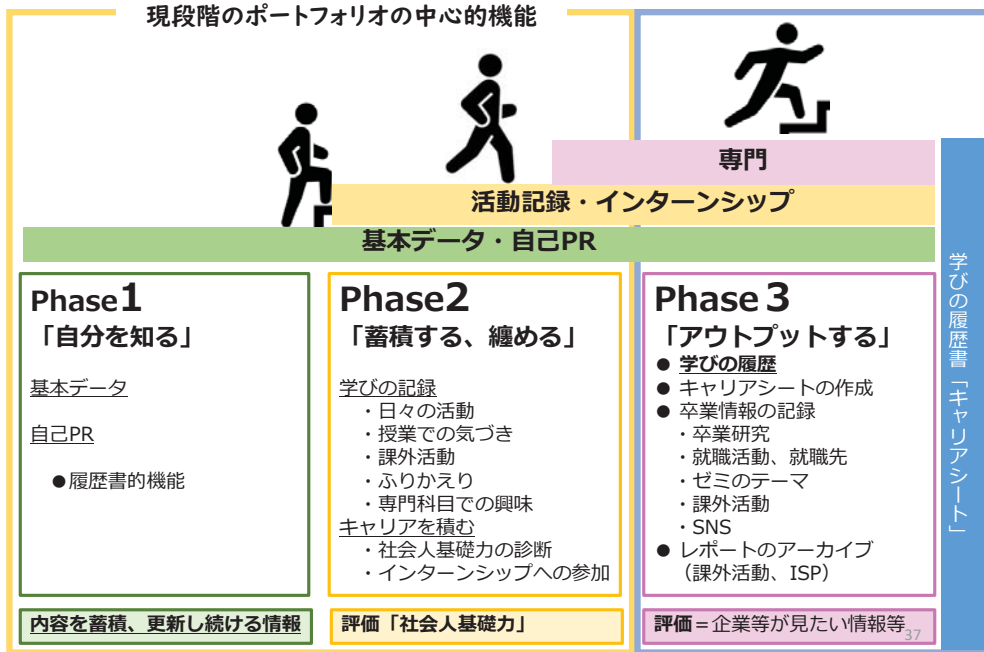
↓ 課題設定

| 基本情報 | 自己PR | 目標 |
|---|---|---|
| 学籍番号 : 所属 : 学年 : 研究室/ゼミ : 氏名 : その他 : | 長所 : 趣味 : 特技 : 得意科目 : 座右の銘 : | 長文記入可能 期間を記入 → セミナーで学ぶ |
| インターンシップ先 | 活動記録 | 資格 |
| 企業名 : 期間 : 担当者名 : 住所 : 連絡先 : 詳細 : | 活動名 : 活動期間 : 活動タイプ : インターンシップ、教育実習、ボランティア、就職活動、目標達成、課外活動、正課活動、サークル、アルバイト、その他 | 資格名 : 取得日 : 資格分類 : 語学・情報・通信技術関連、医療保健衛生・社会福祉、事務処理関係、営業・販売・サービス・保安関係、運輸・通信関係、製造関連技能 |
| 連絡事項 | 評価 | アドバイス |
| 全体への連絡事項 インターンシップ情報 ●テレ会議システム、SNS ●googleフォーム、chatwork | 評価項目と評点を自己評価 社会人基礎力を5段階で設定 ●ルーブリック | 各人に対して、また活動記録に対してコメント入力が可能。 コメント書き込みを許可した相手に書き込み可能 |

↑ コミュニケーション

日記記入部分

ポートフォリオの構成とステップ



□ 平成31年度の課題と目標

1. 評価、評価指標に**企業・学生視点**を入れる。
企業の「求める人材像」 ⇔ 学生の「なりたい人材像」を近づける
2. 開発したルーブリックを活用し、学生の自己評価に加え、**同じ指標で企業にも評価**もらう。
3. 学生が**達成感を実感できる**、あるいは**誘発する項目**の検討。
4. 繰り返し記録、確認できる方法の検討 (**学びの記録と共有**)
→ IOTの活用 (eポートフォリオ、レポート、SNS)
5. 成果の発表の場に企業や自治体の方を招き、外部の目で**一緒に評価**してもらう。
・企業が求める人材像 (能力、思考) の整理 → **ルーブリック項目にも反映**
・**取り組みを学外に広報することにもつながる。**